

政策課題解決への視点の検証について

平成27年1月16日

地域資源戦略協議会事務局

昨年度検討した「今後さらに取り組むべき課題」及び H27AP審査過程の検証

■ 今後さらに取り組むべき課題の総合戦略2014への反映状況 地域資源戦略協議会（ものづくり）

地域資源戦略協議会(ものづくり)WG今後取り組むべき課題に 記載の技術(項目)	総合戦略2014反映内容	
	重点的課題	重点的取組
高付加価値・多品種少量生産などを可能とする革新的生産技術の開発 ・ 三次元造形技術の高度化と従来技術との融合・システム化 ・ 三次元モデリング技術等の設計技術 ・ 先端的加工技術の高度化と活用 ・ 特殊光源を用いた革新的評価技術	地域活性化に繋がる産 業競争力の強化	価値創成につながる ものづくりシステムの 最適化と地域ビジネス の振興
「サービス工学」を取り入れた新しいビジネスモデル		
特徴ある「資産」を有する地域のネットワーク化(広域連携)		

昨年度検討した「今後さらに取り組むべき課題」及び H27AP審査過程の検証

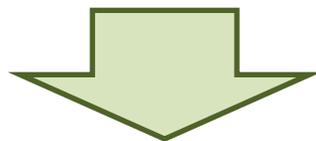
■ 総合戦略2014とアクションプラン 地域資源戦略協議会（ものづくり）分野

重点的課題	重点的取組	SIP 補完/ 新たな先導	新規/ 継続	施策 番号	施策名	今後取り組むべき 課題の中で APで対応できている 項目	今後取り組むべき 課題の中でAPで 対応できていない 項目	問題点
地域活性化に繋がる産業競争力の強化	価値創成につながるものづくりシステムの最適化と地域ビジネスの振興	SIP 補完	継続	地経 01	三次元造形技術を核としたものづくり革命プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値・多品種少量生産などを可能とする革新的生産技術の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 「サービス工学」を取り入れた新しいビジネスモデル 	<ul style="list-style-type: none"> サービス工学は、ビジネスと関わりが強く、技術開発テーマ設定が難しくAPとして挙げられなかった SIP設計生産の「新たなものづくりシステム」に、サービス工学の概念は一部含まれている
		新たな先導	新規	地経 04	ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト			

H28予算での連携施策として取り組むべき課題の検討 (H28年度で取り組むべき課題・領域の明確化)

■ 昨年度検討した「今後さらに取り組むべき課題」において、H27年度アクションプランで対応できていない項目

- 「サービス工学」を取り入れた新しいビジネスモデル
- 地域の資源の価値を高める技術や取組み
 - ニーズに応える高付加価値・多品種少量生産を可能とする生産技術の活用
 - 「モノ」の提供だけでない、サービスとの融合によるビジネス振興のアプローチ
 - 技術開発の「実証の場」として提供
 - グローバルに展開するマーケティングや販売開拓



協議会として、どのように対応するか検討が必要

例えば:

- 科学技術によって達成する地域の再生、新産業の創出のビジョンの検討
- 国の施策として、具体的な施策案を検討
- 具体的な要素技術(研究開発)の検討と、総合戦略2014第3章の仕組みづくりの施策との連携方法を検討する
- ... など